

平成28年第8回島田市教育委員会定例会会議録

日 時	平成28年8月25日(木)午後2時01分～午後3時30分
会 場	島田市役所金谷庁舎 第1会議室(2階)
出席者	五條早規子委員長、北島正委員、牧野高彦委員、秋田美八子委員、濱田和彦教育長
欠席者	
傍聴人	1名
説明のための出席者	畑教育部長、鈴木教育総務課長、池谷学校教育課長、高橋学校給食課長、南條社会教育課長、水野スポーツ振興課長、杉山図書館課長、孕石文化課長
会期及び会議時間	平成28年8月25日(木)午後2時01分から午後3時30分まで
会議録署名人	北島委員、秋田委員
教育部長報告	
事務事業報告	教育総務課長、学校教育課長、学校給食課長、社会教育課長、スポーツ振興課長、図書館課長、文化課長
協議事項	(1) 社会教育育委員に諮問するテーマについて
協議事項の集約	(1) 事務局から提案するもの (2) 各委員が提案するもの
報告事項	(1) 平成28年7月分の寄附受納について (2) 平成28年7月分の生徒指導について (3) 平成28年度夏休み中の学校給食普及啓発事業について (4) 平成28年度島田市芸術文化奨励賞候補者について
会議日程について	・ 次回島田市教育委員会定例会 平成28年9月29日(木) 10:00～ 島田市役所金谷庁舎 2階 第1会議室 ・ 次々回島田市教育委員会定例会 平成28年10月27日(木) 10:00～ 島田市役所金谷庁舎 2階 第1会議室
委員長	開 会 午後2時01分 皆さん、こんにちは。 会議進行上のお願いをいたします。 発言は、全員着席にて行ってください。発言する場合は、指名され

教育部長

た方以外は、委員名、職名を告げ、発言許可をとってから発言してください。

それでは、ただいまから平成28年第8回教育委員会定例会を開会します。よろしくお願いいたします。

会期は、本日8月25日の一日とします。

会議録署名人は、北島委員と秋田委員にお願いします。

それでは、教育部長報告からお願いいたします。

教育部長報告

9月1日から始まります9月議会に提出します補正予算のうち、教育委員会に係る部分につきまして、その概要を説明させていただきます。

最初に、歳出の予算を説明しますので、1ページをお開きいただきたいと思えます。

歳出につきましては、10款教育費、5項社会教育費、7目文化財保護費の諏訪原城跡整備事業及び、1つ飛んで埋蔵文化財調査経費につきましては、国庫補助金及び県補助金、この県補助金につきましては文化財の保存に係る通常分の補助金であります。そちらの内示額の減額に伴いまして事業費の減額を行うとともに、真ん中の川越遺跡整備事業につきましては、県補助金、これも同じく通常分ですが、その皆減といって全額減額になりましたことに伴いまして、一般財源への振り替えを行うものであります。こちらの川越遺跡整備事業費につきましては、変更はございません。

次に、10款教育費の6項保健体育費、2目社会施設費の川根体育館非構造部材耐震化事業につきましては、地方債の種類がありまして、これを過疎対策事業債という起債から緊急防災・減災事業債という起債に組み替えるものであります。こちらにつきましても、事業費について変更はございません。

歳入につきましては、教育国庫補助金と県補助金及び一番下の教育債につきましては、ただいま御説明させていただきました歳出事業費に係る財源の減額及び組替を行うほか、総務費県補助金につきましては諏訪原城の整備事業に係る県補助金に新たに静岡空港隣接地域賑わい空間創生事業費補助金の内示があったことに伴いまして、歳入の増額を行うものでございます。

以上、9月議会に教育委員会に係る案件について御報告をさせていただきました。よろしくお願いいたします。

委員長

教育部長報告が終わりました。質問がありましたらお願いします。

よろしいですか。無いようですので次に移ります。

事務事業報告

委員長

それでは、事務事業報告について、補足説明のある課は説明をお願いします。

教育総務課長

それでは、2ページをご覧ください。

実施のほうから報告をさせていただきます。

8月24日、昨日ですが、四市教育委員会庶務事務研修会が藤枝市で開催されました。これにつきましては、毎年1回実施されているもので、ここでいう四市については、島田市、藤枝市、焼津市、それから掛川市の四市でございます。教育委員会事務の遂行上発生します問題点等について、その問題を抱えた市から提案を行いまして、それについて近隣市の取り組み状況等を確認して参考にしようとするものです。

続きまして予定ですが、9月27日火曜日に第3回の総合教育会議を予定しております。これにつきましては、市役所の4階の第3委員会室で15時から16時30分までの時間で開催する予定です。内容等につきましては追って御案内申し上げますので、よろしくお願いたします。

以上でございます。

学校教育課長

3ページ、それから4ページをご覧ください。

8月、サマーオープンスクールがありまして、定員20名のところ多数の参加があり、そのまま希望者全員参加したところです。

また、8月18日、島田市立小学校及び中学校在り方検討委員会最終回が行われまして、提言書が完結いたしました。また事務連絡等でお伝えするかもしれませんが、9月16日10時から提言書渡しのセレモニーがある予定です。その日はまたよろしくお願いたします。

4ページに行きまして予定ですが、8月26日、明日から始まる学校が幾つかあります。来週早々にはほぼ全部の学校が始業式を迎えます。

夏休み中は、大きな事件、事故の報告は聞いていませんが、夏休み当初、事故等が多少連絡されましたが、それについては後ほど報告します。

9月17日は全中学校で体育大会があります。あと、自然教室を行う小学校が幾つかありますが、以前、B委員から行き場所等についての質問がありましたが、調べた結果、焼津青少年の家や県立朝霧野外センター、島田市野外活動センター山の家等が多いそうです。主に5年生が参加しており、一部に3、4年が参加している小学校もあるということです。

以上で報告を終わります。

学校給食課長

5ページをお開きください。

7月28日ですが、前回、この定例会のときに口頭で御説明しましたが、金谷の学校給食センターの解体工事につきましては、株式会社特種東海フォレスト、2,613万6,000円で受託したということでありました。また、工期につきましては、9月5日から12月16日の予定で工事を実施いたします。これに関連しまして、8月16日ですけれども、この周辺の島自治会へ説明会を行いました。参加者は少なかったのですが、

社会教育課長

近隣のお宅、8世帯8人の方が参加されました。主には、がれきの搬出ルート、それから跡地の利用について質問がありまして、それぞれお答えをしております。

また、この特種東海フォレストにつきましては、前回、B委員から実績はどうかというお話がありましたが、調べましたら、第3地区土地地区画整理事務所の解体工事を行ってございました。

戻りまして8月3日ですが、後ほどまとめて御報告します、親子料理教室を行いました。

それから8月18日、静岡県インターンシップ学校給食センター視察ということで、静岡県が受け入れをします大学生6人、これが本当にいろいろなスケジュールがありましたけれども、その中の1日としてこの中部学校給食センターの視察を行ったというものです。

8月22日ですが、民間委託業者合同研修会、これは南部の調理を行う魚国総本社、それから中部学校給食センターの配送を行う大新東という会社がそれぞれ合同でマニュアルに沿って研修会を行いました。事故防止に向けての研修となりました。

予定ですが、8月29日、来週の月曜日ですが、2学期の学校給食が開始いたします。ただ、この日はまだ2校だけですので、本格的には9月1日から開始されます。

9月12日ですが、NPO法人おとしよりの一日住宅縁がわが試食会に中部の学校給食センターを利用します。12日の他15日、20日、23日に実施します。

9月15日ですが、食材等放射能検査、今回は中部学校給食センターの食材を静岡農業高校に持ち込みまして検査を実施いたします。

以上です。

社会教育課の事業報告の補足をいたします。6ページをご覧ください。

上から3つ目の7月31日の六合公民館での島工業生によるミニ消火器については、通常、水の消化器なのですが、空気銃を使った簡易なものを作成しました。新聞で報道をいただいております、大変好評でした。公民館等では、夏休みを利用して、このような各種子供達の講座等を開催して、盛況になっております。

それから、8月3日のしまだ楽習センターでは、眞部危機管理部長を迎えまして、市民を対象に防災講座を開いていただいたんですけども、熊本の件を受けまして非常人気が高く、内容も非常にためになるということで好評でした。

それから、8月5日から8月7日のしまだガンバのキャンプ活動ですけれども、今回は非常に天候に恵まれてまして全てのプログラムを消化できました。特にキャンプファイヤー、それから川遊びは子供達に人気で、疲れてしまう子供達も出るほど元気よくやってくれました。

中学生のリーダーも参加しまして、リードしてくれました。

それから、8月13日の生涯学習推進協議会の作業部会による生涯学習アカデミーを楽習センターで開催しました。これは、地域課題を高校生、大学生と一緒に考えるという趣旨のものでして、島田商業生と、それから文化合宿で島田を訪れておりました東海大学の学生と一緒に地域の課題を考えてみました。フューチャーセッションという形をとっております。これも新聞で報道いただきました。

それから、人数の追記をお願いいたします。

8月18日、「ぐう・ちょき・ばあ」は、参加者16組39人。このときは中学生ボランティアも13人参加しております。

それから、7ページにまいりまして、防災体験合宿が、これは子供会連合会が主催したものですけれども、五和小学校の体育館に一晩泊まりまして、さまざまな防災の講座を、やはり眞部部長にやっていただきました。大変厳しい内容だったのですけれども、子供達は脱落せず翌日までついてきました。参加者は、子供達が23人、内訳としては3年生から5年生、五和小、金谷小、川根小の子供達が参加しておりました。初めて会った友達とも連携をとりまして、さまざまなプログラムに取り組んでおりました。私も1泊させていただきました。なかなか、体育館で泊まるのは過酷だなと実感いたしました。

8月24日の0歳児の講座は、参加が17組34人です。

それから、今後の予定について2点補足いたします。8ページをご覧ください。

9月3日、しまだガンバの免許皆伝忍者修行という、今年初めてやるプログラムなのですが、諏訪原城を舞台に忍者修行、忍者の格好をして修行をしてみようというものです。教育長には蛇に気をつけるように言われましたので、気をつけてやりたいと思います。

それから9月11日、金谷公民館で「金谷の良いところ再発見」ワールドカフェというのをやらさせていただきます。これは、先ほどのフューチャーセッションと似たような内容ですが、若い人たちの声を聞きやすい雰囲気で聞くというワールドカフェ形式で行います。常葉大学の猿田先生の御指導で、学生も参加していただき、地域の魅力を再発見していこうという趣旨でございます。もし、よろしければ御参加いただければと思います。

以上、補足いたしました。

スポーツ振興課長

スポーツ振興課から補足説明をさせていただきます。

10ページをご覧ください。

8月8日、9日、午前10時から正午まで、駅前の歩歩路で、リオ五輪に出場されました長谷川純矢選手並びに日本競泳の選手のパブリックビューイングを開催いたしました。

長谷川選手につきましては、8日の早朝の予選で54秒17の全体で19

位で、残念ながら決勝に駒を進めることはできませんでしたが、8日は関係者を含めて50名、9日は20名の参加を得て開催をさせていただきました。引き続き、パラリンピック、東京五輪に向けて雰囲気作りをしたいと考えております。

それから、8月19日から21日、島田の川口山の家を拠点に、氷見市のスポーツ少年団交流事業を実施しております。スポーツ少年団の交流は平成6年から始まりまして、今回で23回目ということで、大変大きな歴史を積み重ねております。残念ながら、大町市については、前回は報告しましたが参加ができないということで、氷見市と島田市の団員40名、それから関係者を合わせて70名で交流会を実施させていただきました。

子供達は、トーマスへの乗車や川遊びなどで多くの友達や思い出を作ることができました。また、ジュニアリーダー、スポーツ少年団というと6歳から18歳まで、高校生まで入ることができます。中学、高校生が研修を受けてジュニアリーダー、シニアリーダーとして認定された子供達に参加していただいて、各班に入って、3日間班をまとめていただきました。年の近いお兄さん、お姉さんがいるということで、大人とは違う距離感で子供達にとっては大変大きかったなと感じております。

11ページをご覧ください。

9月2日です。ママさん教室ということで、初めての試みになりますけれども、1期5回の日程で開催します。他の教室と同様に、スポーツ推進員の皆さんが指導して軽スポーツの推進を図るものですが、初めての試みとして、託児付きで、子供の育児が最優先となる若いお母さん方を対象に実施するというものです。これについては結果を来月報告させていただきます。

9月11日ですけれども、車いすバスケットボールの競技で出場される鶴網出身の藤本怜央さんの日本対オランダ戦のパブリックビューイングを、これはローズアリーナで、9月11日、9時から11時までということで応援させていただきますので、またお時間がありましたら御協力いただきたいと思います。

以上です。

図書館課の実施事業の補足説明をさせていただきます。

7月14日からの展示であります。これは金谷図書館ですけれども、国土交通省、文化課の企画展に合わせまして図書館で展示コーナーを設けて実施させていただきました。

それと、7月29日と8月2日、2日間ですけれども、焼津高等学校のインターンシップ1名の受け入れを行っております。

13ページをご覧ください。

8月9日、栃木市の市議会の視察を受けております。議員8名と随

図書館課長

行者1名、9名の視察を受けております。

それと、8月10日、夏休み小学生1日体験図書館員ですけれども、これが最終日になります。7月、8月で3館におきまして8回、27名の小学生の1日体験図書館員を受け入れしております。

それと、8月18日、キッズブックですけれども、参加者32名の御記入をお願いします。

続きまして、今後の予定であります。

8月31日、金谷南支所及び金谷北支所での図書館サービス、これが終了します。この2カ所につきましては、今後北部ふれあいセンターと大津農業環境改善センターへ移転しまして、11月1日から運用を開始したいと考えております。

その下の、島田市子ども読書活動推進委員会です。済みません、これは8月31日となっておりますけれども、8月30日です。修正をお願いします。これにつきましては、島田市の子どもの読書活動の推進計画がありまして、現在第2次計画で遂行しております。平成28年で第2次計画が終わるものですから、29年度以降、5年間になりますけれども、その推進計画が立てられます。これにつきましては、28年度中にこの3次計画を策定するというものです。これが第1回目の委員会になります。今後、この計画が作成されました時点で、委員会での御協議をお願いすることになりますので、よろしくをお願いします。

9月3日、川根図書館講座「川根再発見！～あなたの知らない大井川～」ということで、大井川中学校の矢澤校長先生に講師をお願いします。以前、川根中学校におきまして、川根の歴史に非常に詳しい方です。

それと、9月9日につきましては、牧之原市の施設見学、参加者25名の受け入れを行います。川根図書館と島田図書館2館の視察を受けます。

それと、9月10日、図書館ブックサロンです。これは初めての事業ではありますが、本の好きな方が自分の好きな本を持ち寄って、みんなでその自分の持ってきた本を紹介し合うというものです。明日まで募集を行っております。15名を募集しております。

それと、9月24日から25日、ぬいぐるみの図書館おとまり会です。今年で3回目になります。ぬいぐるみを持ち寄っていただいて、そのぬいぐるみが夜選んだ本を次の日に子供に貸し出します。10名を募集する予定であります。

以上です。

文化課ですが、15ページからご覧いただきたいと思っております。

順番に説明させていただきますと、8月7日、アルディフィルハーモニー管弦楽団第2回演奏会ですが、島田出身の鈴木啓資さん指揮に

文化課長

よる演奏会でした。入場者数が心配されましたが、最終的には345人の入場者がありました。

続きまして、8月20日学芸員のギャラリートーク、分館のほうですが、参加者1人とお願いします。

8月21日県民の日イベント無料開放、博物館のほうですが、参加者が両館合わせまして989人でした。

ナイトミュージアムですが、博物館の本館で懐中電灯を持って照らしながら博物館を回るということで、参加者が20人。

子供茶会は、島田市茶道連盟の皆さんにやっていただきましたが67人。

三遊亭遊喜さんのトークと高座ですが、これは島田市のふるさと大使として任命したのに併せまして日本家屋で開催しました。当日は200人の方が高座を聞きに来てくださいました。

そのほか、まちかどライブ、風車作りのワークショップ等を開催しております。

続きまして、16ページになります。

まず最初に、今日、別紙で1枚、カラー刷りと白黒刷りをお渡ししました。裏側をまずご覧いただきたいと思いますが、白黒のほうです。県の指定文化財になっております金谷医王寺薬師堂の、親子見学会ということで、大工のお仕事現場見学会を今日開催しました。8組17人の方に参加をしていただきまして、かんながけ体験とか、かんなくずで花を作ってみようということで、体験教室を開催しながら医王寺の復元家屋について説明をしてもらいました。今日の模様はSBS静岡放送で6時15分から7時の間、1分半ほど、それと静岡朝日テレビでも放映されると思いますので、御興味がありましたらぜひご覧いただきたいと思います。

また、表面をご覧いただきたいと思いますが、8月28日、今日の日曜日です。これは一般の方を対象としました現場見学会になります。1回目が13時半、2回目が14時20分、3回目が15時10分ですが、1回目が今のところ22名、2回目が23名、3回目も23名ということで、まだ余裕がございます。各回35人募集しておりますので、御都合がございましたら、ぜひこちらのほうもご覧いただければと思います。

続きまして、9月1日からPA（音響機材）教室が開催されます。昨年度、市のほうで音響機材をリースしまして、それを無料で貸しまして、まちかどライブ事業を開催しております。ただ、まちかどライブに現在のところ26団体101人登録されていますが、登録をしてもこのPA機材が使えないとなかなかまちかどライブができないということで、その使える方々を養成しようと、今回、4回にわたりまして講座を開催します。

今のところ、19人の申し込みがありまして、その方々が使えるようになりますと、島田市内の街角、あとはお店などでまちかどライブが繰り広げられていくのではないかと期待もしております。

それと、9月10日、1枚の鉄板から仕上げる兜づくり講座です。これは、博物館の市史編さんにおります天野忍先生にお願いをしまして、本当に1枚の鉄板から兜を作っていただきます。本格的に、金づちで打ちながら丸みを持たせて、ひもで縫い合わせて最後には漆を塗って仕上げるということで、本格的な兜づくり体験になります。7回の講座ですが、申し込みですが、10名募集をいたしまして9人の参加者がありました。1人実費5,000円で今回は開催しております。

9月10日からは静岡県立美術館の移動美術展です。本館と海野光弘版画資料館で開催しますが、島田市出身の北川民次画伯の絵を中心として静岡県内の創作版画を展示します。この期間中は博物館の入館料が無料になりますので、ぜひ、大勢の方に来ていただければと思います。

以上でございます。

委員長 はい、ありがとうございます。

委員 B委員 補足説明が終わりました。事務事業の概要について質問がありましたらお願いします。いかがでしょうか。

委員 B委員 社会教育課長に、少しお願いします。

社会教育課長 7月31日のところで、ミニ消火器を作ろうという説明の中に、聞き間違いだったかもしれませんが、空気銃とおっしゃいましたか。

委員 B委員 空気、塩ビの筒の中に空気を押し込んで、こちらからぼんと打つものです。ぼんと空気が飛び出して、消していくというような。

社会教育課長 水鉄砲の水の代わりに空気鉄砲みたいなもの、というような意味ですか。

委員 B委員 その通りです。本来は水をぼんと一気に吹きかけて消すものなのですが、水がなかなか使いにくいものですから、ということです。

委員 B委員 空気銃って、私達、子供のころによく流行りまして。大人がね、スズメを撃つのに使っていたんです。これは空気圧で、本当の鉄砲の形をして、子供が扱えるものではありませんで、危険なものですから、本当に、小鳥などは撃てるものを空気銃というものだと思いますので、少し、そういう言葉のこだわりだけです。

委員 B委員 そういうものかと思って、どういふものだろうとびっくりしたんです。以上です。

委員長 私も、お話を聞いたときに頭の中に銃を思い浮かべました。

社会教育課長 空気鉄砲みたいな、おもちゃのような。

委員 B委員 おもちゃの。

委員長 はい、分かりました。その他ございますか。

A委員 サマーオープンスクールなのですけれども、毎年、うちの子、参加させていただいて、今年もお世話になったのですけれども、募集と実際行くときのお手紙が、1枚の表裏で来ていると思うんですけれども、ちょっと内容が盛りだくさんで見づらいというか、少し分かりづらいというところがあったものですから、形について、来年度以降、もう少し分かりやすい形にさせていただけるとありがたいなと思いました。

学校教育課長 募集要項ですね。

A委員 募集要項と、あと、当日の持ち物とかあったと思うのですけれども、とにかく、字がすごく多いので。

あと、今年からバスが、今までコミュニティバスで行っていたところが駅に集合になっていたりとか、その辺りのこともあったので、毎年その形で来ているので、ああ毎年そうだなと思って見てはいたのですけれども、初めての方は文字と文字の間が空いていたり、持ち物というくりがあたりすると、もう少し見やすいのかなと思ったので、また御検討いただければと思います。

学校教育課長 私も見たことがありますけれども、確かにその通りだと思います。

また、その辺はより良いものにしたいと思います。

A委員 お願いします。

学校教育課長 ありがとうございます。

委員長 はい、お願いいたします。その他ございますか。

C委員 学校給食課長にお願いします。

予定の欄の9月21日、大津小学校家庭教育学級試食会とありまして、家庭教育学級で楽しい試食をするというのはすごくいいなと思っています。

時間は、昼間でしょうか。

学校給食課長 やはり給食を試食していただくことになりますので、それと併せて、栄養士からも栄養講話も若干あります。ですので、11時半頃集まっていたきまして、施設見学、それから栄養講話、そして12時頃から試食会と。それで大体1時ぐらいにはお帰りいただくような形になっています。

C委員 親御さん、家庭教育学級で出るというチャンスが、昼間ですと参加しにくいのですが、参考のために、夜間、試食はできないかもしれませんが、そういった給食の何か、もくろみは可能ですか。いろいろな講習会とか、家庭学級で給食について何か講座を開くことは、夜でも可能ですか。

学校給食課長 試食を主な目的としますと、やはりどうしても給食のできる12時頃が中心となります。あと、目的を変えて、例えばセンターの中身、給食の栄養講話といったものであれば、給食に関わらず夕方、あるいは夜間でも可能だと思いますが、またその辺は検討させていただきます。

C委員 はい、よろしく申し上げます。

委員長

B委員

社会教育課長

B委員

委員長

C委員

社会教育課長

C委員

委員長

家庭教育学級、なかなかテーマを決めるのも大変だし、給食となりますと結構とつきやすい、家庭での話もあると思いますので、広げていただくとありがたいなと思いました。

はい。ありがとうございます。その他ございますか。

社会教育課の関係です。この忍者修行というのはどういう内容なのですか。それと、指導者はどういう方がどのようなにするのかなと。ちょっとイメージが湧かないものですから。

レクリエーション協会さんに御指導いただきまして、実は、先日レクリエーション協会主催の忍者修行を、一度先行でやっております。

そのときは、ビニール袋を着て、ビニールのひもで帯を巻いて少し簡易な忍者装束をしていただいて、諏訪原城のロケーションを使って堀とかあぜといいますか、ああいうところで、例えばびんを置いて、そこに折り紙で折った手裏剣を投げたりというようなゲームであるとか、暗号をひもといて何かを持ってくるというような、結構動き回るものが多く、幾つかを組み合わせるようになっていきます。

はい、分かりました。

よろしいですか。はい。ありがとうございます。

社会教育課長に教えてもらいたいのですが、予定の欄、8ページ、8月30日、これは内容とは関係無いのですが、これは伊久美ですけれども、高齢者学級について、分かりましたら教えてください。

高齢者学級は、公民館の施設ではほぼ1つずつございまして、75歳以上の高齢者で、年間を通していろいろなテーマをほぼ毎月、勉強会をやっているというものです。

伊久美では、実は今回初めて高齢者学級ができたということで、ここに上げさせていただきました。健康のことが中心であることが多いのですけれども、いろいろな勉強をしたり、物を作ったりということをやっております。

はい、分かりました。

よろしいですか。はい、ありがとうございます。他にございますか。済みません、それでは私から1つ、社会教育課長に。

感想ですが、8月3日のしまだ楽習センターの講座ですが、友達に誘われて参加させていただきました。防災講座で、大人対象でしたけれども、ここにある裏技ということで、手引書に無いような、でも実践的なトイレの作り方とか、新聞紙のスリッパの作り方とか、いろいろ教えていただいて、とても私も参考になったし、参加された皆さんがとても楽しく、そして参加して良かったとおっしゃっていました。

事前に、この実施のところを見たときに、8月20日から21日の防災体験合宿というところを見て、ああ、自分も8月3日に参加したのでとても関心があって、どんなことをしたのかなと思っていたのですが、先ほど様子を聞かせていただいて、かなり厳しかったけれども、きっ

社会教育課長
委員長
A委員

と子供達は実践的なことが身についたのではないかと思います。

同じ講師の方だということ、頭に浮かびます。とても楽しい様子が浮かびます。それで、今度の日曜日でも地区の防災訓練もあります。そういう地区の防災だけではなく、このように市民を対象にした、子供を対象にした講座とか、防災に関することがこれからもあるといいなと思いました。ありがとうございました。

ありがとうございました。

その他ございますか。

社会教育課の活動のほうで、子育て広場「ぐう・ちょき・ぱあ」にボランティアの中学生が参加したということで先ほどお話がありましたので、今日午前中、私は広場のほうへ行ってきましたので少し報告をさせていただきたいと思います。

夏休み、第一中学校の生徒さんにボランティアの募集をかけた上で、4回、延べ60名ほどボランティアの参加がありました。今日は6名だったのですが、そのうち4名が男子生徒でした。

先週は、お父さんが1歳の女の子を連れて参加されたということもあって、先週も男の子たちがいたのですが、お父さんと男子生徒の交流もあったりして、今日は6人のうち4人男子生徒で2人女子生徒だったのですが、本当にどの子達も1人であることがなく、中学生同士で固まることなく、本当に上手に子供達と関わってくれていました。

幼稚園児も夏休み期間中は「ぐう・ちょき・ぱあ」に来ているものだから、そういう子達と折り紙をしてくれたりとか、廊下でボールで遊んでくれたりとか、今ではなかなか見られなくなったいろんな年齢の子供達の関わる姿を見ることができて、ぜひ来年もつながっていくといいなと思いました。

以上です。ありがとうございます。

委員長
社会教育課長

ありがとうございます。社会教育課長、よろしいですか。

ありがとうございます。男子生徒の参加というのは非常に有意義で、最近の研究でも、男子生徒が乳幼児と接することによって粗暴性が低減したりとか、逆に優しさが増してくるという研究もありますので、非常に効果が高いということを実感しております。

今年度も、赤ちゃんふれあいタイムに男女で参加させることとか、特に一中の地域連携室では、隣接が第一中学ですので、こういった場合には男子生徒を積極的に参加するように促したりしております。ありがとうございます。

委員長

その他ございますか。

済みません、私からお願いします。

スポーツ振興課長にお聞きします。

この前、パブリックビューイングに参加させていただきまして、ありがとうございました。2日目もあるということで、私も少し宣伝を

スポーツ振興課長

させてもらいまして、出席した友達が、パラリンピックもあるのかしらと言って聞いたので、ここで見まして、ああ、パブリックビューイングがあるなということのを思ったんですが、場所が違いますが、何か理由があるのですか。

歩歩路に決まったのは、島田高校の体育館や、おおるりなど、いろいろ模索はしたのですが、暑い時期でもありますので歩歩路と決まったわけなのですが、実は、歩歩路は貸館なものですから、料金が高くつくというところもありまして、パラリンピックについては、安くできるようなところをということで、ローズアリーナが空いていることや、体育の関係の方がたくさん来るということもありまして、ローズアリーナに決定させていただきました。予選が総当たりなものですから、たくさん放映されます。その中で、日曜日のしかも9時から10時までの午前中で、日本とオランダ戦ということで決めさせていただきました。

17日に、藤本さん、実はローズアリーナにお見えになって、その日は勝ちたいと思いますということでおっしゃっておいりましたので、頑張っていただけだと思います。

委員長

分かりました。ありがとうございます。

B委員

文化課の、アルディフィルを、私、聞かせていただいたのですけれども、とても良かったです。リーダーの、彼の名前は、

文化課長

鈴木啓資さん。

B委員

鈴木さんね。彼の、少しだけトークがありましてね、そこで気持ち、志というか、それが非常に良く伝わった良い企画でした。

コンサートという、大体いきなり音楽をやってそれで終わるだけなんですけど、少しだけ話があったので、うんと生きてきたなと思いましたし、非常にバランスの良い、あれは相当レベルの高い楽団ではないかなと思いました。

団員の方の紹介などは、どこを見ても付いていなかったんですけれども、なかなか実力のある人たちをうまく集めたんだなと思ひまして、感心しました。

これは毎年、大体続く予定なのでしょうか。

文化課長

ありがとうございます。鈴木啓資さん、今回が2回目で、島田市教育委員会と共催ということで、お金を若干出させていただきます。

今後につきましては、鈴木啓資さんが文化課へ来られたんですが、3回目、4回目と続けていきたいと。ただ、趣向は変えて、もう少し市民の方々と一緒に関わりあうコンサートもやってみたいとお話されておいりましたので、3回目、来年か次の年になるかもしれませんが、実施はしていきたいと考えております。

今回、アルディフィルハーモニー管弦楽団につきましては、東京音楽大学の在學生とか卒業生を中心に、昭和音楽大学、桐朋音楽大学の

B委員
委員長

皆さん方、鈴木啓資さんのネットワークで集まった皆さんだと伺っておりますので、鈴木啓資さんの実力の高さなのではないかなと思っております。

以上です。

はい、分かりました。ありがとうございました。

他にございますか。

無いようですので、協議事項に移らせていただきます。

協議事項

委員長

17ページです。

協議事項、社会教育委員に諮問するテーマについて、説明をお願いします。

社会教育課長

では、17ページをご覧ください。

社会教育委員に対する諮問につきましては、前回の諮問に対しまして報告書を出させていただいたところですが、その後、今後のテーマについてどうするかという話題がございました。

そこに経緯がまとめさせていただいておりますけれども、社会教育委員と教育委員会委員の皆さんとの懇談会をやらせていただいて、双方協議していく中で新たな研究課題を見つけていきたいと思います。

それを受けまして、第2回目の社会教育委員会を開きましたところ、この17ページの後段、大きい2番から4つほど社会教育に関する案件がございまして、1つは家庭教育支援のあり方、それから18ページのほうに行きまして「中高齢者は子どもたちにどんなことを伝えたいか」という報告書の活用策について。それから3つ目は、社会教育施設、公民館等、今後のあり方をどうするかというテーマ、それから4つ目として、今、改訂を進めております生涯学習大綱の見直しについてということ候補に挙げて考えてみましたけれども、17ページの1の(2)にありますように、先の報告書にも柱の1つとして書かせていただきましたが、家庭教育の今後について非常に総合教育会議でも話題になったということで、もう少し掘り下げていってみたいということが社会教育委員の大勢の意見でございました。

そんなところもございまして、ぜひ教育委員の皆さんに御意見をいただきまして、諮問いただければと思った処でございます。

この家庭教育に限らず、他のテーマでももちろん結構でございますけれども、社会教育委員の中ではこれをやってみたいという意見が多かったところでございます。

どうぞ御質問ください。

委員長

はい、ありがとうございました。

社会教育委員に諮問するテーマについての説明が終わりました。

教育長

御意見、御質問ありましたらお願いします。いかがでしょうか。

今日、文化課で実施した医王寺のワークショップ、あれを見させてもらったら、子供達、それからお母さん達が大変楽しそうに有意義な活動をしていたと思いました。

でも、やはり人数がたいへん少ないということは、いろいろ、子供達を活動させたい、または体験させたい、伝えたいということがあって、それをなおかつ教育委員会、またはいろいろな団体が発信していても、なかなか受け手である家庭が受け止めてくれない。

必要とする人は、いろいろ広報したことが目に入るし耳にも入るのだけれども、意外と必要としないというんですか、余り意識しないでいると、いくらこちらが広報してもそういう情報が見過ごされてしまうことがあると思うんですね。

でも、基本的に最後の最後は親が、またはおじいさんおばあさんも含めて家庭が子供達に何らかの発信をする、または提案をするということをしていかないと、子供達が動き出さないとと思うんですね。

そういうことを考えると、これまでの中高齢者が子供達にどんなことを伝えたいかということの発展として、いろいろな伝えたいことがあるけれども、それをどう伝えていくか、そしてどう受け止めてもらうかというところを研究するということは、これから学校教育を支えてもらう地域が、または家庭が支えることを考えてもとても大事なことだなと思います。

市民総ぐるみの中の一番の基本は、私は家庭教育にあると思うものですから、この家庭教育の支援、または家庭教育において子供達の教育をどう支援する、または充実させるかということについては、とても大事だし、なかなか難しさはあるけれどとても大事だなと思うものですから、私はこのテーマで研究していただけるということについてはありがたいと思うんですが、皆さんはどうでしょうか。

委員長

いかがですか。家庭教育支援のあり方について、(1)のところがやはり主になっていくのではないかと社会教育委員の方達も考えているということですが。

B委員

これは、正にその通りだろうと思いました。以前でしたら、家庭教育というと、その言葉を聞いただけで、大体、家庭ってまずどんなものかという、そういうイメージがずっと湧いて、それを誰と話をしてもほぼ共通の家庭のありようというものに頭に思い浮かべることができたんですが、最近はそう簡単ではなくて、家庭のありようが大変に多様化していると思うんですね。

そういうことからすると、これはなかなか難しいんですが、家庭教育と一口に言うのが非常に困難になってきたのではないかと。10人いると10人が全く別のことをイメージするのではないかとというふうにすら

思います。

家庭教育支援という、言葉だけはこれで格好良く収まっているんですけども、家庭のありようそのものが多様化していて、そうすると今度は支援の仕方も非常に複雑になるのではないかなというおそれを抱くんですけども、それであったとしても、確かに教育長がおっしゃったように、今、これは喫緊の問題、課題であることは確かなんだと、私も思うんですね。

ですから、社会教育委員の方々に、ここを正面から切り込んでいただくというのは大変頼もしいなと思いました。

が、これはそう簡単ではない気がしますので、このところは、まず家庭のありようをうまく分類していただいて、そうしてどういうふうにそれぞれに具体的にアプローチできるのかということ、ここまで考えていただくとうれしいと思います。

以上です。

C委員

学校の先生方の多忙化というのもありまして、それを掘り下げていくと、我々の年代では家庭教育でやっておくことだったことが、学校教育の中で行わなければならない、それが多忙化の1つにもなるという話もいただいております。

そうすると、先ほどB委員が言われた、あるいは教育長が言われた家庭のありよう、家庭教育とは何かということから掘り下げていく必要があると、今、聞いていて思ったのですが、2つの視点があって、ではその家庭教育はこういうものだよとか、我々が考えていた家庭教育はこうだということ、内容をどう伝えるかということと、それから、家庭教育とは何かということ、2つあると思うのですが、その両方とも突き詰めていただきたいなと思いました。

うまく言えませんが、我々というか中高齢者、あるいは社会の人達が、家庭にこういうことがあるんだよというものを、いろんなことを伝える、今は伝わっていないのでどうして伝えたらいいかということが1つと、それから、そもそも今の家庭の多様化がどういうふうになっているか、その2つを中心に突き詰めていく必要があるなど。どちらからでもいいんですけども。

教育長

学校教育の現場から考えますと、いろいろなことを家庭に発信をします。やっていただきたいこと、考えていただきたいこと。でも、届く人にはいつも届きます。届かない人には、いろいろな工夫をしてもなかなか届かないことがあります。これは、授業参観をやった後の懇談会などでも、来てくれる人の顔ぶれが決まっているということにもつながってくると思います。

家庭教育に対して、または子育てに対して大変意識の高い方は伝わるものもきちんと伝わるし、参加していただきたいと思うところに

も参加していただけます。ところが、その逆の方って、なかなか、手を変え品を変えしてもなかなか難しいというところもあります。

ですから、建前論だけでいくのは簡単なのですが、先ほどB委員からもあったように、突き詰めると大変難しい問題がここには潜んでいると思うんですね。それに真っ向から取り組んでいただけるといふところに、難しさもあるけれども価値もあるなと思うんですね。

これは、単に社会教育の問題だけではなくて、学校教育の問題でもあります。それはC委員がおっしゃったように、学校の多忙化と連動する部分もあると思うんですね。ですから、学校現場からではない視点でこの部分に切り込むということに大きな価値があるなと思うし、大きく期待するところですね。

以上です。

A委員

ペアレントサポーターとして子育て支援に関わったりですとか、あと、家庭教育学級のお手伝いをさせていただく中で、本当に支援というのが、こちらは支援したいと思っても、相手がそれを望んでいるかどうかというところがやはりすごく難しいなと思うところが1点と、あと、伝えていくということも、こちらは発信をしたい、でも受ける側はそれをどう受けるかというところの難しさは、私もいつも感じているんですけど、このところ感じているのが、子供が小さいうちから仕事を持つとか、核家族で生活をされている家庭が多くなっていく中で、お母さん達が地域の中で関われる人の人数がすごく限られているなど。

普段、子供を連れて散歩していれば、近所の人と会って言葉を交わすことがあっても、仕事に出て帰りに買い物をして車で家に帰ってきてという生活を週5日していると、なかなか地域の人と関わることもできない。

そういう中で、支援とか何かを伝えたいというものを渡されるというのは、すごく重たいというか、なかなか受け入れ難いところがあるのかなと、自分自身も支援に携わっていて、やはり押しつけになってしまう。やはり、その前段階として、どう人間関係を作っていくとか、家庭教育といいながら、やはり地域の力とか学校を介して、子供を介してのネットワークというか、関わりとか、やはりそこで人間関係を作った上で、伝えていくとか支援をしていくことが成り立っていくのかなと思うので、本当にすごく難しいし、やればやるほど課題は出てくると思うんですけども、でも、なかなかテーマとして正面切って取り上げられることもないことだと思うので、ぜひこの機会に取り組んでいただけるとありがたいと思いました。

委員長

ありがとうございました。

ここで、今、(1) 家庭教育支援のあり方について、いろいろ御意見

B委員

をいただいたのですが、その他にも、2、3、4について挙げられています。その他のことについてはいかがでしょうか。何かありますか。

もし可能ならば、家庭教育支援をとりあえず中心的テーマにして、そこに少し何か関わる余地があれば、例えばそれをサポートするのに中高齢者をどう使うかだとか、あくまでもメインのテーマは1つにして、他のを、あるいはこの3番の社会教育施設ですね、こういったものをそこに少しずつ関わってサポートするようなこと、余りテーマを分散しないほうが僕はいいと思うので、中心のテーマは家庭教育へ、せっかくですから集中していただいて、そこで自然にそういう要素が必要であるということがあれば、それをうまく関わらせる形で持っていくのが無理がないのかなと思います。1つだけでも大変なことだろうと思いますので。

教育長

今のことについて、少し。

(2)番の活用については、私は家庭教育の中でも必ずクロスする部分が出てくるなと思います。

それから、(4)は生涯学習委員会の委員の皆さんが主になって検討していきますが、実は、教育大綱も、それから総合計画のほうも、要するに市民総がかりとか地域総がかり、総ぐるみとか、そういう視点で作られているものですから、その視点を考えますと、生涯学習の中にも家庭教育、地域の教育力ということは必ず入ってくると思うんですね。ですから、私は無理にこの研究をしなくても、自然に入ってくる内容だと思っています。

ですから、まさに1番、今、少し弱いと思われる家庭教育、または家庭教育支援について研究をしていただくと、中高齢者が伝えるというところの活用にも生涯学習の大綱にも反映してくるのではないかなと思うものですから、別に分けなくてもいいと。

ただ、核としては家庭教育支援というところでもいいのではないかとと思うのですが、これでいかがでしょうか。

委員長

今のB委員と教育長のお話について、いかがでしょうか。よろしいでしょうか。

それでは、メインテーマを1つに、この家庭教育というところでテーマにさせていただいて、また検討していただく、研究していただくということでお願いしたいと思います。

社会教育課長

ありがとうございます。

協議事項の集約

委員長

次に移ります。

次回委員会定例会における協議事項の集約についてです。事務局からの提案をお願いします。

教育総務課長

今回、資料は特にございませんが、例年行っております教育委員会に関する事務の点検・評価について、また実施に対する要領とタイムスケジュール等を提案させていただきますので、御協議願いたいと考えております。

以上です。

委員長

はい。分かりました。

各委員からの提案はございますか。よろしいですか。

報告事項

委員長

それでは、報告事項に移ります。

質疑は、報告が全て終わってからお願いします。

では、報告事項の1つ目です。教育総務課長、お願いします。

教育総務課長

それでは19ページ目をご覧ください。

平成28年7月分の寄附の受納についてです。湯日小学校に谷田川報徳社様から放送機材一式についての寄附がございました。

それから、同じく湯日小学校にですが、湯日小学校の後援会から、附属備品としてのワイヤレスマイクロフォンが寄附されております。

それから、初倉南小学校に対しては谷田川報徳社から123冊の児童用の書籍が寄贈されています。

それから、初倉小学校には、大正琴が1台、野形貴公枝さんからです。この方は初倉小学校の大正琴クラブの指導員をされている関係と、大正琴協会の普及員ということで、例年、初倉小学校に寄贈をいただいています。

報告は以上です。

委員長

はい、ありがとうございます。

2つ目です。平成28年7月分の生徒指導について。

学校教育課長

別綴じの、生徒指導月例報告をご覧ください。

1学期、7月までの報告になります。

問題行動については、小学校は若干減少傾向ではありますが、下の1の(3)のグラフを見て分かりますように、やはり小学校のほうが一言でいうと多いと言えらると思います。ただ、小学校は6学年ありまして中学校は3学年なので、多いと言えらるかもしれませんが、一時代前は、中学校において粗暴行為等が多かったわけなのですが、完全に逆転をしているということで、小学校での粗暴行為が78%、件数も非常に多いと。

それと、この前御指摘がありました総数については誤りがありましたので、4月から7月の総件数ということで、そのように訂正させてもらいました。1の(3)の①の小学校は総件数72件、②中学校は総件数38件で、その内訳の円グラフが下になります。

下の四角に書いてありますけれども、小学校の児童間トラブル、同

じ児童が繰り返すケースが多いという辺りも1つあるかなと思いますけれども、発達障害系の児童等の対応に大変苦慮している現実があるというのが、数字にも出ていると思います。

裏面へいきまして、不登校のほうは、小学校では若干収まっているように見えますけれども、昨年度よりは多い状況です。中学校のほうは、やや増加しているようなグラフになっていますけれども、昨年と同じぐらいの数です。しかし、合わせましても40人ぐらいですかね、前に言ったかもしれませんが、一時100人を超えた時期があります。それに比べると3分の1、4分の1という状況で、この近隣3市の中でも半分から3分の1の状態が今現在も続いています。非常に島田市だけ安定していると、現在はそういう状況です。

いじめについても、報告件数が増えることが良いと、そしてまたそれに対して真摯に取り組むこと、そして安易に解決したという報告ではなくて、難しい問題であるという認識が大事だと、学校教育課では捉えております。

島田市教育センターでは、ここにたんぼぼについては触れていませんけれども、中学校においても発達障害に関わる相談が非常に多くなっているということで、中学校におけるたんぼぼという教育センターの通級指導教室は非常にニーズが高いと言えます。

いずれも、非常に多くの件数を抱えて、特別支援教育相談室のほうも基本的にはもう全て埋まっている状況がずっと続いています。この夏休みも、昨日も少し視察に行ってきたんですけども、終日全部も予約で埋まっているという話でした。

交通事故のほうは、7月、夏休みに入ってから子供の接触事故、職員の事故もあったんですけども、連日、3日か4日ぐらい続いて、市内一斉に注意喚起のメールを出させていただきました。

そのかいあってか、夏休みに大きな事件、事故はなくて良かったと思いますが、ただし、ちょっとしたことで大きな事故につながる事例は無かったわけではないので、引き続き注意喚起を促していきたいと思います。

不審者情報も、最近の社会のニュース等を見ますと大変心配な状況があるわけですが、時期的にも、これから日が短くなっていくと不審者との遭遇ケースが増えてくるということで、注意していきたいと思います。

最後に、金谷小学校の例がありますけれども、褒めることから勇気づけ、認め、教師が子供をより肯定的に見ていくことで、いろいろな生徒指導的な工程が見られたということで、その通りではないかなと思っています。

以上です。

委員長

はい、ありがとうございました。

学校給食課長

続きまして、3つ目です。平成28年度夏休み中の学校給食普及啓発事業について、お願いします。

21ページをご覧ください。

学校給食課では、夏休み期間中に下記の2つの事業を行っております。学校給食に関わる普及啓発事業ということで行っております。

夏季休業中につきましては、給食センターでは機器のメンテナンス、清掃、あるいは研修、1学期の反省と2学期に向けた目標作りということも行っておりますけれども、そのような中で、このような事業も行っているものです。

先ほどの事務事業の概要に記載がありましたが、1つ目は、夏休み親子料理教室であります。これにつきましては、実際の学校給食の献立を親子で調理し、またそうした体験を通して給食に関する関心を持ってもらう機会としようとするもので、これについては8月3日水曜日午前と午後、それぞれ行いました。これはおおるり栄養指導室で行っております。

記載の通り、午前は15組36人、午後は10組24人、合わせて25組60人の親子の皆さんに集まっていただきました。ちなみに、去年は24組57人ですので、若干の増となっております。当日のメニューにつきましては、記載の通りです。

こうした学校給食のメニューを自ら親子で作ることによって、その楽しさや大変さを実感し、給食への理解を深められたものと考えております。

2つ目は中学生の料理バトルで、これについては1チーム5人程度で班編成をし、班ごとに島田市の産物であるお茶、レタス、シイタケなどの産物を意識して学校給食の献立を自ら考え、所定の予算や時間内で調理して、見栄えや味を考慮して優劣を競うものです。

記載の通り、7月27日水曜日の午前中に、これについては2会場、プラザおおるりと保健福祉センターはなみずきで行いました。

対象のところですが、市内学校の中学生と御訂正ください。9チーム34名で参加しております。ちなみに、昨年度は7チーム34人、ほぼ同数でした。

内容的には、1人分が300円以内でできる献立を考える。先ほど言いましたように地場産品を活用する、それから給食に使える献立を考えるということを条件とし、また、白飯に合う副食3品を90分以内で調理する、こうしたことから、結果、優秀賞と優良賞をそれぞれの会場で決定しております。

会場では、野球部男子だけの参加もあったり、地場の産品を意識した給食メニューを考えることで、地元の産品をいかに給食メニューに

委員長
文化課長

生かすのか、また衛生管理も考えた調理を行うなど、真剣な中にも楽しく実施できて、学校給食を考える良い機会となったものと考えております。

以上です。

はい、ありがとうございました。

22ページをご覧いただきたいと思います。

平成28年度島田市芸術文化奨励賞候補者についてです。

今年度は、6月30日までの間で募集をかけておりまして、榛葉樹人さん、榛葉薫人さん、このお二人は御兄弟であります。お二人が推薦をされました。お二人共、初倉小、初倉中を卒業されまして、現在は東京にお住まいで活躍をされております。

まず、榛葉樹人さんから少し紹介をさせていただきますと、昭和55年生まれの35歳です。中学校を卒業後、島田高校、国立音楽大学音楽学科を卒業後、東京芸術大学の専攻を終了されております。その後、二期会のオペラ等で活躍されまして、現在は新国立劇場合唱団の登録団員でもあります。

B S日本のこころの歌に現在出演されておりますので、御存じかと思えます。薫人（弟）さんと一緒に活躍されているところもありますので、その他につきましては一緒に御紹介させていただきます。

薫人さんにつきましては、中学校を卒業された後、清水南高等学校、東京芸術大学音楽学部声楽科を卒業されております。その後、イタリア・ミラノへ留学されまして、現在は東京新宿区のオペラだとか江東区のオペラ等に出演されて活躍をされております。

お二人共東京で活躍されるだけではなくて、島田に戻られまして活躍をされております。平成22年には金谷中学校の芸術鑑賞教室、お二人共に出演されております。平成23年には島田市のオペラ「魔笛」に出演され、27年には初倉公民館でお二人共くらの大ホールでジョイントリサイタルを開催しております。平成27年9月には島田第二中学校の芸術鑑賞講座、そして今年平成28年8月21日にはプラザおおるりでプレジールコンサートにお二人共で出演していただいております。

それぞれ、東京等で活躍もされておりますし、島田市内での貢献度も高いことから推薦のほうをいただきました。

以上でございます。

委員長

はい、ありがとうございました。

報告事項を説明していただきました。質問等ありましたらお願いいたします。

C委員

感想なものですから申し訳無いのですが、生徒指導の2ページ目、不登校のときの四角で囲った太書きの文章が、非常に感激したものですから。

社会の中でも、人生の中でちょっと足踏みをする場合が結構あります。そんな中で、こういった懐の深い教師の方が大勢いてくれることを本当に幸せだなと思います。

「不登校のさなかになると、本人も保護者もそこに希望を見つけ出すことが難しく、無意味な衝突や変化のない毎日がただ繰り返されるだけで、まるで将来が閉ざされてしまったかのように思えることがある。それでも、不登校は決して無意味な状態ではない。ときには動きがないように見えることがあっても、不登校というあり方を通して、本人にも保護者も多くのことを学びとり、将来の生活に向けての新たな活力を身につけていっているのだということを見落とさないようにしたい」という言葉、これを先生方が考えていただいているということで、島田の教育は素晴らしいなと感激しました。ありがとうございました。

それから、一番最後の文化課の文化奨励賞の候補者、2名挙げられているんですが、どちらかということですか。それとも2名同時にという意味なのでしょう。

文化課長

それぞれ推薦をいただいておりますが、1人とは限定したものではありませんので、選考委員会の中でお2人同時にということであれば、2人でもかまいません。

B委員

今の続きですが、2番目の薫人さんは、これは何年生まれの方ですか。

文化課長

昭和58年生まれの32歳でございます。

B委員

確認だけです。樹人さんのほうは、国立音大とおっしゃったんですが、国立音大の間違いですか。

文化課長

そうですね、済みません。国立音楽大学です。申し訳ありません。

委員長

その他、質問はありますか。

教育長

文化課長に少しお聞きしますが、選考委員会が行われますよね。これはいつ頃行われるのか、そして選考委員についてはどういうふうになっているのか、確認をしたいと思うんですが、いかがでしょうか。

文化課長

選考委員につきましては、1年間の任期ということでこれまでも推薦をさせていただいております。この1年間の任期が9月30日で前回の方々が終わりますので、10月から新しい選考委員会の方々が今回は選考していただく予定になっております。

有識者6人以内となっておりますので、去年は宮村弦さんといま書道家の方でしたので、書道家を含めた有識者の方に選考委員になっていただきましたが、今年度は声楽家ということですので、音楽関係の方に有識者にもなっていただいて、有識者6人以内と教育委員の4人の方からお1人選考委員になっていただいて、あと1人市の職員ということで、部長に選考委員になっていただいた中で、10月の下旬

委員長

から中旬にかけて開きたいと思っております。

はい、ありがとうございます。

その他ございますか。よろしいですか。

無いようですので、次に移ります。

その他

委員長

その他、会議日程についてです。

次回。平成28年第9回定例会は9月29日木曜日午前10時から正午、会場は島田市役所金谷庁舎第1会議室行うと決まっておりますが、次々回について、お願いいたします。

教育総務課長

次々回につきましては、10月の第4木曜日が27日となっております。

その日なのですが、午後の時間帯に自治推進連絡協議会が入っているものですから、午前中の日程で10月27日午前10時から正午の予定をしていただきたいと思いますと考えておりますが、どうでしょうか。

委員長

はい。

10月27日木曜日午前10時から正午ということで、いかがでしょうか。

はい、それでは、次々回は、今総務課長がおっしゃったように、10月27日木曜日午前10時から12時ということで、島田市役所金谷庁舎第1会議室にて行います。

以上で、本日の定例会の内容は終わりました。よろしいですか。

では以上で定例会を閉会いたします。ありがとうございました。

閉 会 午後3時30分